

鳥取県立美術館整備運営事業の進捗状況

令和3年12月10日
美術館整備局

1 施設整備について

(1) 県立美術館の整備スケジュール

時期	概要
令和3年1月～	実施設計
令和4年1月	建設工事着工・県民が集う着工の集い
～令和6年3月	建物完成引渡し
令和6年度	建物枯らし期間・開館準備（収蔵作品移転等）
令和7年春	開館（令和6年度中）（運営期間：～令和22年3月）

(2) 県民が集う美術館建設着工の集い

- ・県立美術館の建設工事が令和4年1月に着工されることを機に、施主となる鳥取県立美術館パートナーズ株式会社（PFI事業者）と一体となり、地域の関係団体の皆様と共に、「県民が集う美術館建設着工の集い」（安全祈願祭・起工式、記念講演会など）を実施することにより、情報発信、機運醸成の取組を全県的に進める。

○安全祈願祭・起工式（主催：PFI事業者）

- ア 日時 令和4年2月11日（金・祝）午前11時から正午まで
- イ 場所 美術館建設予定地（旧倉吉市営ラグビー場）

○県立美術館設計事務所による記念講演会

- ア 期 日 令和4年2月13日（日）午後
- イ 場 所 倉吉未来中心 大ホール
- ウ 講 師 株式会社楨総合計画事務所
- エ 演題(案) 「美術館の「ひろま」が地域を切り開く」※美術館の特徴「ひろま」を取り入れた考え方等について
※とっとりプラットフォーム5+α等と連携し、学生など広く周知、公開予定。
- オ その他 記念講演会開催の午前中には、①建築工事に関わる伝統行事（石場かち）、②工事期間中に設置する仮囲いを活用したアート展示を実施予定

○県立美術館のパス及び楨総合計画事務所の代表作品を紹介する巡回展示（県からの委託事業）

- ア 時 期 令和4年2月から
- イ 場 所 倉吉未来中心アトリウムを皮切りに県内各所に巡回展示予定

※このほか、「県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会」も講演会やワークショップを実施予定

2 運営について

- ・県内全域の文化団体等を中心に出前説明会を開催するとともに、ボランティアや友の会等の県民参画の仕組みづくりの過程で「県民・団体との対話会」を開催するなど、PFI事業者と一体となって全県的な機運醸成を行っている。

→今年度の出前説明会等 32回実施（11月末現在） ※令和2年度実績30回

- ・「美術館を支えてくださる県民」の関係人口づくり、拡大のため、県民の方に制作過程、配布過程に関わっていただくフリーペーパー「Pass me!（パスミー!）」を発行（9月発行、3月発行予定）。
- ・また、県立美術館のホームページ（プレサイト）、フェイスブック、ツイッターを開設し、美術館の整備運営計画、検討状況の県民周知に努め、県民と気軽にSNSで交流できる場として「とっとりアートLab（愛称：とりらぼ）」を開設している。
- ・さらに、出前説明会等とは別に、県立美術館ができることを知っていただき、気軽に想いを伝えていただく場として、「県立美術館で” やってみたいこと”、あなたの夢をお寄せください!」と題し、街頭で気軽に参加できる県民アンケートを実施している。県民アンケート回答215件（12月3日現在）

→美術館整備局前や鳥取県美術展覧会(県展)、出前説明会会場等 20箇所設置。

このほか、ジュニア県展の各会場、三朝町総合文化ホール、倉吉市立図書館、等に巡回中。

・開館初年度の企画展について検討を開始。

3 美術ラーニングセンター(仮称)機能の検討

(1) 県立博物館美術展への小学生のバス招待

- ・美術館開館後の小学4年生(又は3年生)招待に向けて、県立博物館の美術展への招待を先行実施中。今年度は、11~12月に8校・9回 496人を招待した。 ※令和2年度 10校662人
- ・12月8日(水)には、県立博物館に招待した鳥取市立美保小学校6年生100人に対して、鳥取短期大学の学生30人が対話型鑑賞のファシリテーターを務めた。

(2) 対話型鑑賞ファシリテーターの養成

- ・「とっとりプラットフォーム5+α」との連携により、県内高等教育機関で対話型鑑賞による鑑賞授業を横展開している。(6月14日鳥取短期大学、12月15日米子工業高等専門学校)
- 一般県民によるボランティアも想定した専門研修会を開催している。(6月17日ほか)

(3) 教員を対象とした研修の開催

- ・11月25日(木)に対話型鑑賞を学ぶ県教育センター主催の専門研修を博物館の美術展を会場に実施した。22人の教員が、本物の美術作品に触れながら授業での対話型鑑賞の進め方やポイントを学んだ。

(4) 具体的な機能の構築

- ・平成29年度にエキスパート教員等による検討委員会を設置して情報の収集・分析・蓄積等を行っており、具体的な機能や業務内容を県教育委員会関係課でワーキングして、市町村教育委員会や学校などとの利用の調整を進めていく。

4 美術館フィールド活用支援事業

- ・美術館の設計・建設工事期間中(令和3~5年度)、「とっとりプラットフォーム5+α」との連携により、県内高等教育機関において、美術館の建設現場等をフィールドとした講義の実施等、学生が設計、建設業界に興味を持っていただける取組みを実施中。

【事業予定】設計者等の関係者による講義(6月25日ほか)、建設現場見学、スタディ模型の作成、PFI事業者関連施設見学(出雲古代歴史館等) 等

5 美術館を支える仲間づくりや活動の創設に取り組む地域団体等を支援

- ・地域団体等が自ら企画実施する美術館づくりワークショップ、ボランティア育成等の美術館を支える活動を支援している。
- 今年度交付決定件数 8件(令和2年度実績6件)

6 「県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会」との連携

- ・官民60団体で組織する同協議会とPFI事業者、美術館整備局とが県立美術館に関する情報・スケジュール・課題の共有化を行いながら、地域の活性化・まちづくりの観点から、美術館を活用した活動を展開している。 ※県教育委員会及びPFI事業者はオブザーバーとして参画。

《令和3年度おもな活動》 会員60団体(令和2年度59団体)

【全体】

- ・鳥取県立美術館の周知活動
(協議会ロゴマークや美術館パスを活用した会員団体の名刺や封筒でのPR)
(会員団体のホームページへの鳥取県立美術館プレサイトのリンク(バナー)貼付け 等)

【応援団部会(とっとり県美応援団 団長 佐伯健二氏)】

- ・4月、会員総会・美術館設計者による講演会
- ・7月、ニュースレター「び〜・さぼ第1号」発行
- ・10月~11月、美術館支援ボランティア等に関する講演会、視察研修

【盛り上げ部会(中部地区の経済青年3団体)】

- ・冬頃、県民を対象に県立美術館の興味関心を喚起するイベント